

授業科目名	情報科学概論	担当教員	教授 津本周作ほか		
開講年次及び学期	1年前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<b>授業の目的（概要）</b>					
<p>コンピュータ及び基本的なソフトウェアの使用法, データサイエンスについて講義および演習で学ぶ。さらに, EBN(実証に基づく看護学)の実践に重要な役割を果たす情報処理, データ解析(統計解析を含む)の基本的手法について演習形式で学習する。</p>					
<b>学修成果（到達目標）</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンピュータの操作方法を身につける。</li> <li>2. ワープロ, 表計算, プレゼンテーションソフトの使用法を習得する。</li> <li>3. データサイエンスの数理の基本を習得する。</li> <li>4. 計算機による統計処理に必要な基本的技能を習得する。</li> </ol>					
<b>キーワード</b>					
情報リテラシー、データサイエンス、統計解析					
<b>授業の進め方</b>					
Webexによるライブ講義およびオンデマンド型講義を併用して実施する					
<b>成績評価の方法（合否基準）</b>					
テストの総得点を100点満点に換算したうち60点以上を合格とする。					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>					
<p>『製品開発のための実験計画法—JMPによる応答曲面法・コンピュータ実験—』  河村 敏彦 (2016) (近代科学社) 税込：3960円 を購入すること (第4回から使用予定)  その他教材はプリントにて配布する。</p>					
<b>オフィスアワー</b>					
随時					
<b>モデル・コア・カリキュラムとの関連</b>					
<p>B-2-6) 疫学・保健統計  ねらい：  根拠に基づいた看護を実践するための基礎となる疫学と保健統計について学ぶ。  学修目標：  ④ 情報リテラシーについて説明できる。</p> <p>G-2-2) 研究成果の活用の方法  ねらい：  研究成果を解釈し、活用していく方法を学ぶ。  学修目標：  ① 情報リテラシー、統計リテラシーを獲得できる。</p>					

授業計画

回	月日	時間	場所	実施方式	授業内容	担当
1	5月11日	14:55～ 16:35	第4実習室	オンデマンド	オリエンテーション, 電子メールの使い方, 情報セキュリティ	平野
2	5月18日	〃	〃	オンデマンド	表計算ソフトの使い方	平野
3	5月25日	〃	〃	WebEx(ライブ) オンデマンド	統計学の基本① 標本・ランダム・抽出	河村
4	6月1日	〃	〃	〃	【補足】統計的推測の考え方(点推定と区間推定)	河村
5	6月8日	〃	〃	〃	統計学の基本② 平均値・中央値・最頻値	河村
6	6月15日	〃	〃	〃	統計学の基本③ 標準偏差・偏差値	河村
7	6月22日	〃	〃	〃	統計学の基本④ ヒストグラム・正規分布	河村
8	6月29日	〃	〃	〃	アンケート調査の基本① 分析の目的・調査対象の決定	河村
9	7月6日	〃	〃	〃	アンケート調査の基本② 調査データの収集・分析	河村
10	7月13日	〃	〃	〃	実務に活かす統計学① 統計グラフの見方	河村
11	7月20日	〃	〃	〃	実務に活かす統計学② 因果関係と相関関係の違い	河村
12	7月27日	〃	〃	〃	実務に活かす統計学③ ランダム化比較試験(RCT)	河村
13	8月3日	〃	〃	〃	総演習	河村 平野

備考

本科目は「数理・データサイエンス入門」に準拠する。  
担当教員 津本, 河村, 平野